

日本学術会議

は2017年5月に学術フォーラム「危機に瀕する学術情報の現状とその将来」を開催した。その後の学術情報を取り巻く情勢は、オープンサイエンスのさらなる進展、学術情報の分析と大学運営に及ぼす影響、電子ジャーナル問題とその対応戦略、わが国の学会における学術雑誌の諸課題、エビデンスデータの公開、研究データの散逸や学術情報のデジタル基盤構築など、多くの課題が顕在化し、また学術情報のおかれている環境も急速に変化している。

日本学術会議は、学術の基本となる学術情報の現在を継続して検討するため、このたび、学術情報に関するフォーラムのpart2を開催する。学術情報を取り巻く現在の情勢を共有すると共に、将来に向けての活発な議論を展開したい。



## 危機に瀕する学術情報の現状とその将来 Part 2

日 時：平成31年4月19日(金) 13:00～17:30

会 場：日本学術会議講堂(東京都港区六本木7丁目22番地34号)

日本学術会議主催  
学術フォーラム

主 催：日本学術会議

参加費：無 料

定 員：300名

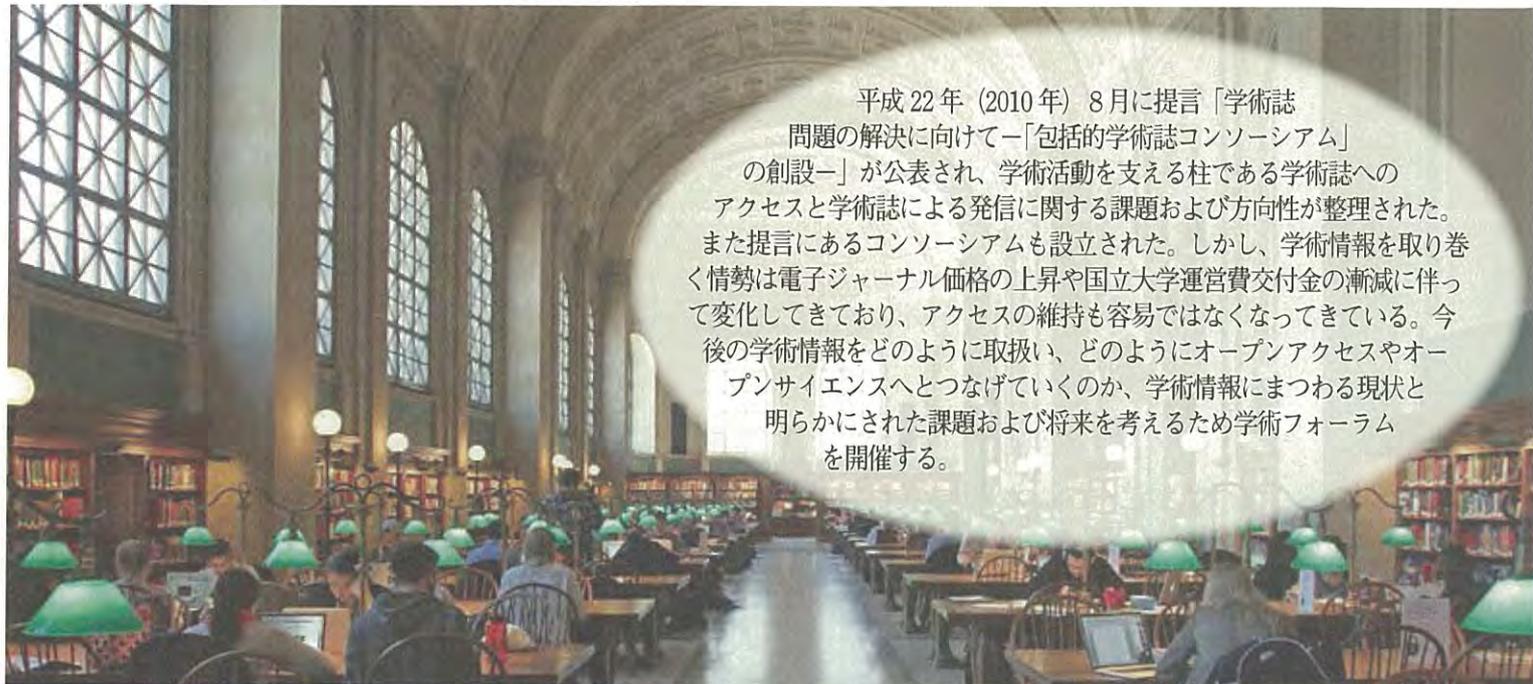
申込方法：以下の申込フォームより申込んで下さい

<https://ws.formzu.net/fgen/S25136437/>

### PROGRAM

- 司 会 米田雅子(日本学術会議第三部幹事、慶應義塾大学特任教授)
- 13:00 開会挨拶 三成美保(日本学術会議副会長、奈良女子大学副学長・教授)
- 13:05 趣旨説明  
大野英男(日本学術会議第三部部長、東北大学総長)
- 13:15 学術情報としての政府統計(仮題)  
北村行伸(日本学術会議第一部会員、一橋大学経済研究所教授)
- 13:40 学術誌をめぐる国内外の諸問題と対応策  
山口 周(日本学術会議第三部会員、大学改革支援・学位授与機構研究開発部教授)
- 14:05 学術の信頼性を損なう粗悪雑誌問題  
野上 識(東京大学理学系研究科シニア・リサーチアドミニストレーター)  
武田洋幸(日本学術会議第二部幹事、東京大学大学院理学系研究科・理学部研究科長・理学部長)
- 14:30 エビデンスデータの公開をめぐる課題  
休憩(15分)
- 15:10 オープンサイエンスに関する政策と方向  
文部科学省 研究振興局参事官(情報担当)
- 15:35 オープンサイエンスと情報基盤  
喜連川優(日本学術会議連携会員、情報・システム研究機構国立情報学研究所所長、東京大学生産技術研究所教授)
- 16:00 データベース統合と研究データの散逸問題  
佐々木直哉(日本学術会議連携会員、日立製作所研究開発グループ技師長、一般社団法人機械学会会長)
- 16:25 総合討論  
コーディネータ 佐藤岩男(日本学術会議第一部部長、東京大学社会科学研究所長・教授)
- 17:25 閉会挨拶 武田洋幸(前掲)
- 17:30 閉会





平成 22 年 (2010 年) 8 月に提言「学術誌  
問題の解決に向けて—「包括的学術誌コンソーシアム」  
の創設—」が公表され、学術活動を支える柱である学術誌への  
アクセスと学術誌による発信に関する課題および方向性が整理された。  
また提言にあるコンソーシアムも設立された。しかし、学術情報を取り巻  
く情勢は電子ジャーナル価格の上昇や国立大学運営費交付金の漸減に伴っ  
て変化してきており、アクセスの維持も容易ではなくなっている。今  
後の学術情報をどのように取扱い、どのようにオープンアクセスやオー  
プンサイエンスへとつなげていくのか、学術情報にまつわる現状と  
明らかにされた課題および将来を考えるため学術フォーラム  
を開催する。



日本学術会議主催  
学術フォーラム

## 危機に瀕する学術情報の現状とその将来

日 時：平成 29 年 5 月 18 日 (木) 13:00 ~ 18:00

アクセス：日本学術会議 (東京都港区六本木 7-22-34) 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」下車 5 番出口  
(青山霊園方面) より徒歩 1 分

お申込み：日本学術会議ウェブサイト (<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>) にて

平成 29 年 5 月 17 日 (水) 17 時までにお申込み下さい。参加無料、定員 250 名、先着順

お問合せ先：日本学術会議事務局 企画課学術フォーラム担当、電話：03-3403-6295

### PROGRAM

総合司会：大野 英男 (日本学術会議第三部会員、東北大学電気通信研究所長・教授)

- 13:00 ~ 13:05 挨拶 大西 隆 (日本学術会議会長・第三部会員、国立大学協会副会長、豊橋技術科学大学学長)
- 13:05 ~ 13:20 趣旨説明 大野 英男 (日本学術会議第三部会員、東北大学電気通信研究所長・教授)
- 13:20 ~ 13:45 講演 「危機に瀕する学術誌～商業化・電子化・オープン化に伴う諸問題～」  
久留島 典子 (日本学術会議第一部会員、東京大学史料編纂所教授)
- 13:45 ~ 14:10 講演 「学術誌の安定的・持続的アクセスに向けて」  
安達 淳 (日本学術会議連携会員、情報・システム研究機構国立情報学研究所教授)
- 14:10 ~ 14:35 講演 「学術情報の現状－研究者を取り巻く状況－」  
松尾 由賀利 (日本学術会議第三部会員、法政大学理工学部教授)
- 14:35 ~ 15:00 講演 「学術情報の現状－大学経営の立場から－」  
植木 俊哉 (東北大学理事)
- 15:00 ~ 15:25 講演 「国立大学と学術誌問題」  
大西 隆 (日本学術会議会長・第三部会員、国立大学協会副会長、豊橋技術科学大学学長)
- 15:25 ~ 15:35 - 休憩 -
- 15:35 ~ 16:00 講演 「デジタル時代の科学出版：オープン、ネットワーク化、データ駆動」  
Anders Karlsson (エルゼビア グローバル・アカデミック・リレーションズバイスプレジデント)
- 16:00 ~ 16:25 講演 「学術情報基盤の整備推進に向けた文部科学省の取組について」  
原 克彦 (文部科学省研究振興局参事官 (情報担当))
- 16:25 ~ 16:50 講演 「これからの学術情報－オープンサイエンスを巡って－」  
土井 美和子 (日本学術会議第三部会員、国立研究開発法人情報通信研究機構監事)
- 16:50 ~ 17:05 - 休憩 -
- 17:05 ~ 17:50 総合討論 「学術情報のエコシステム－そのあるべき姿とは－」  
総合討論司会：小松 久男 (日本学術会議第一部会員、東京外国語大学特別教授)  
パネリスト：講演者全員
- 17:50 ~ 18:00 まとめ 大政 謙次  
(日本学術会議第二部会員、東京大学名誉教授、愛媛大学大学院農学研究科客員教授、高知工科大学客員教授)
- 18:00 閉会